

交換留学（派遣）近況報告書

留学先大学 : ウーロンゴン大学
 留学先での所属学部・研究科 : Faculty of Social Science
 留学先での在籍身分 : Exchange student
 留学期間 : 2019 年 7 月 ~ 2020 年 6 月
 神戸大学での所属学部・研究科 : 国際人間科学部 発達コミュニティ学科
 学年（出発時） : 3年生
 本報告書記入日 : 2019 年 10 月 11 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> ニュージーランド <期間> 1か月

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員 | <input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員 | <input checked="" type="checkbox"/> 友人 |
| <input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩 | <input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板 | <input checked="" type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ |
| <input type="checkbox"/> 留学フェア | <input type="checkbox"/> その他（具体的に）_____ | |

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、1~4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| <u>2</u> 学術的な目的（研究を深める等） | <u>4</u> 地理的な条件が良い |
| <u>1</u> 語学力の向上 | <u> </u> 旅行ができる |
| <u>3</u> 将来のキャリアのため（就職に役立つ等） | <u> </u> プログラムの時期が良い |
| <u> </u> 家族のバックグラウンドと関係がある | <u> </u> プログラムの期間が良い |
| <u> </u> 異文化体験 | <u> </u> 経費が安い |
| <u> </u> 個人的理由 | <u> </u> その他（具体的に）_____ |

1-4. VISAについて

VISAの種類 : Student Visa (subclass 500)申請先 : Australian Government Department of Home Affairs必要日数 : 1日VISA取得にかかった費用 : 575 ドル

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

留学先の大学のCOE（留学許可書）、OSHCの加入証明書、パスポートの書類を添付しました。
 また、VISA申請時に渡航が一時的なものであることを示すために、GTEを書かないといけません。GTEに神戸大での学業成績証と語学能力証明書も添付しました。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

ないです。

1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

特にないです。VISAの取得に時間がかかるのではないかと心配していましたが、申請してその日のうちにVISAが承認されたことには驚きました。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社 : カンタス航空

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）: HIS

留学先大学最寄り空港名 : シドニー国際 空港

空港到着時間 : 8:30am 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー
その他（具体的に）_____

移動の所要時間・料金 : 120 分, 航空券8万円

空港からの移動の際の注意点 :

事前に、自分で大学のホームページから、空港への出迎えを予約する必要があります。このサービスは無料で、空港から寮まで送迎してくれたのですごい助かりました。お勧めします。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し

参加について : 必須 任意参加

参加費用 : 無料 有料（金額 : _____)

内容について記入してください。

授業の選び方、履修の仕方、アカデミックサポートの紹介と使い方、学校主催のイベントの紹介、オーストラリア文化、スラングの紹介などがありました。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。
必要ないです。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

夏休みの期間にアルバイトをしようと考えているため、Commonwealth bankで銀行口座を開設したのと、tax file number (TFN) を申請しました。どちらの手続きも簡単でした。あと、寮には直接郵便が届かないので、大学内の郵便局でMy postの登録をして、郵便物を大学で受け取れるようにしました。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

参加していないです。でも、エッセイなど課題を提出する前は必ず、図書館のアカデミックサポート（COOP）を利用して、文法や構成を確認してもらってから出すようにしています。

留学先大学：ウーロンゴン大学

留学先での所属学部・研究科：Faculty of Social Science

留学先での在籍身分：Exchange student

留学期間：2019年7月～2020年6月

神戸大学での所属学部・研究科：国際人間科学部 発達コミュニティ学科

学年（出発時）：3年生

本報告書記入日：2019年10月11日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

大学のホームページを中心に情報を集めました。VISAの申請など、留学前の手続きに関する情報は、オーストラリアに留学していた人の留学体験記を参考にしました。また、出発前に、梅田で行われたオーストラリア留学フェアに参加して、UOWの人から直接お話を聞ける機会もありました。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名前：Kooloobong Village
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）1人部屋だが、キッチン、バスルーム、
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：日本） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：5分、徒歩
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

一番大きい寮なので、留学生、現地の学生を問わずたくさんの学生が住んでいます。大学まで歩いて5分、シティーまではバスで15分ほどで、また近くにフリーバスのバス停もあり便利ですし、寮の周りの治安も良いと感じています。寮が毎週たくさんのイベントを開いてくれているので、そのイベントをきっかけにたくさんの友達を作ることができました。留学初期に住む場所、友達を作る場所としては最適だと思います。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊しています。昼食は大学内で買うと少し高いような気がするので、サンドイッチやパンを家から持つて行く時が多いです。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に決まりました。ただ、寮を申請するときに、何回やってもエラーがでて次のページに進めないことがありました。思い切ってaccommodation officeにメールをしたところ、私のアカウントだけなぜかロックされていたらしくて、ロックを解除してくれて申請できる用になりました。この時に、何でもわからないことがあつたら聞けばいいんだと実感しました。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありませんか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ

- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

日本で履修登録をしたときは、4つの授業をとるつもりでいたが、オーストラリアに来てからタイムテーブルを確認してみると、2つの授業の時間がかぶっていて、そのうちの1つの履修を取り消しました。履修登録の際は、シラバスが表示されるだけで、タイムテーブルはまだ確認できませんでした。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Healthy Public Policy	Dr Heather Yeatman	4	6	40	オーストラリアの公衆衛生に関する政策についての授業。予習のリーディングは授業の理解を深めるためにある。
2	Food and Society	Dr Joanna Russel	3	6	30	食が、社会にどのように（経済、国際関係、安全、政策、健康など）関わっているかを学ぶ授業。他の授業と比べて比較的簡単な授業だと思う。
3	Health Communication	Dr Hassan Hosseinzadeh	4	6	40	Health Promotionについての授業。予習のリーディングは授業の理解を深めるためにある。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は、先生の講義を聞くLectureと、少人数でディスカッション中心のTutorialがあります。Tutorialは特に準備が必須で、準備をしていてもディスカッションに参加することが難しいと感じる時もあります。ただ授業を聞くだけではなく、自分の意見を常に持ち、それを共有しないといけないという点が日本の授業と大きく違う点だと思います。また、1つの課目につき、学期に4個ずつ（3週間に1個のペース）課題があるので、毎週何かの課題の締め切りがあることが多いです。成績評価は厳しいと感じる時が多いですが、出した課題一つ一つに対して先生が細かいフィードバックをくれるので、そのフィードバックを次に生かすようにしています。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床	起床	起床	起床	起床		
9:00	図書館	図書館	図書館	図書館	Tutorial		
10:00					図書館		
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	Lecture			Lecture			
15:00							
16:00							
17:00							
18:00	自由時間						
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)

オーストラリアに来てから初めの2週間は、寂しさとここで1年間生きていくのかという莫大な不安に駆られて、すごいホームシックになりました。ホームシックを解消するために、積極的に寮のイベントに参加して友達を作ったり、外出してみたり、またこの留学体験記を読んで先輩方も同じ経験をしてたんだ感じ安心したりもしました。友達と一緒に過ごす時間が増えてからは、オーストラリアでの生活が徐々に楽しくなってきました。やっと生活に慣れてきたと思ったころに、授業が始まって、次は、授業の難しさとちゃんとついていくのかという不安に駆られました。オーストラリアの授業システムは日本とは全然違うので今も苦戦していますが、自分なりに勉強方法や時間の使い方を模索したり、寮で友達と一緒に勉強したりして、何とか授業についていっています。

まず、UOWのBuddy programを通して、私の留学生活をサポートしてくれるバディーに出会いました。私のバディーはオーストラリア人で、日本語を勉強しています。バディーは私の課題の英語を添削してくれて、その代わりに私がバディーの日本語の課題を添削して、と私が助けてもらっていることのほうが多いですが、お互い助け合って勉強しています。また、彼女は授業がお昼からでも、朝から図書館で勉強していて、その分週末はバイトをしたり、遊んだりしていて、勉強と遊びのメリハリがすごいなと一緒にいてよく感じます。だから、私も彼女の真似をして、平日は朝から勉強をし、週末は遊び、とメリハリのある生活を送るようになりました。彼女に出会えたことは私の留学生活の中で本当に大きいことなので、このBuddy programに感謝しています。

授業についてです。Lectureは講義を聞くことが中心で、授業のスライドと、授業のビデオがe-learningのサイト（神戸大だとBEEF）にあがるので、予習、復習がしやすい環境が用意されています。私が一番苦戦しているのは、Tutorialで、ディスカッションや発表を中心に行開される授業です。予習の段階で意見を準備していたとしても、いざディスカッションが始まるとなかなか意見がいえなかったり、今何について話しているのかさえ分からなくなってしまったと、学期を通してたくさんの困難をTutorialで経験しました。でも、グループの中で意見が言えるようになったり、思い切ってクラス全体に向けて、自分の意見、グループの意見を言ってみたりと、自分の中できちんと積極性がでてきて良いほうに変わり始めているかなと感じています。学期末に大きなテストやレポート提出がある日本の大学とは違って、オーストラリアは1つの課目につき、3つか4つの課題の提出を求められます。なので、毎週何かの課題に追われているという状況です。課題を出す際は、図書館のアカデミックサポートを利用したり、ネイティブの友達にお願いしたりして、一度自分の英語を添削してもらってから出すようにしています。また、課題の点数は先生からのフィードバックとともに返ってきます。自分の課題の点数が直接返ってくるのは、ドキドキするし、思うような点数が取れなかつたときは正直落ち込みますが、先生が書いてくれるフィードバックは、ライティングや理解を伸ばす一番の材料だと思うので、向き合って次に生かしています。一度、課題のフィードバックを受け取った後に、先生に質問を行ったことがあります。何についてもっと深く書かないといけなかつたのかや、どの部分に時数を使えばよかつたのか、またリファレンスの書き方など細かく教えてもらえたので、行ってよかったです。その後も何回か質問を行ったので、今では私のことを認識してくれていて、授業で日本についての語題が出たときは、話を振ってくれるような関係性になることができました。また、たくさんの課題を出したことによって、ライティングの力は徐々に伸びてきているなど実感します。この留学期間を通して、もっとライティング力を伸ばせるように頑張ろうと思います。

留学生活は勉強ばかりではなくて、いろいろな場所に遊びに行っています。寮でできた友達とビーチに行ったり、近くのカフェに行ったり、ハイキングに行ったり、また、一緒に料理を作ったり、映画をみたりなどをして週末は楽しんでいます。電車で1時間30分ほどでシドニーにも行けるので、日帰りでシドニーに遊びに行くこともあります。学期の途中にある1週間のrecess weekでは、バディーと1泊2日でシドニーに、また、ルームメイトと4日間ウルルに旅行に行きました。どちらもすごい楽しくて充実した休みになりました。次の休みには、どこに旅行に行こうかともう今から考えています！あと、1か月ほどでこのセメスターが終わり、3か月の長い夏休みに入ります。最初に感じたホームシックはもう全然感じなくなり、オーストラリアでの生活を存分に楽しんでいます。もう初めのセメスターが終わってしまうのかという気持ちが大きくて、1年間という時間をさらに大切にしないといけないなと感じます。寮は友達作りには最適の場所ですが費用が高いので、この休み中に引っ越しをして、寮で出会った友達と一緒に住み始める予定です。休みの期間を、たくさんの新しい経験ができるように、語学をもっと伸ばせるように有効に使って楽しみたいと思います。